

発行
トーエネック労働組合
長野地本 組織局
第197号
発行責任者／河崎 良浩
編集責任者／斉藤 高尚



定期大会
特集号

第61回 長野地本定期大会開催



2020年度 スローガン

絆を強く、未来に向け、安心出来る職場を目指そう。

第六十一回長野地本定期大会が、六月二〇日(土) バスターミナル会館において、新型コロナウイルスの影響で非招集による確認が行われた。

大会は井踏岳地本委員の司会で始まり、山下幸貴資格審査委員長(飯田支部)により資格審査報告が行われ、今大会の成立が宣言された。

議長団として、議長に蟹澤壮介代議員(木曽福島分会)、副議長に小林千紘代議員(中野分会)、大会書記に高澤進代議員(安曇野支部)がそれぞれ選出された。

大会開催にあたり執行部を代表して山口貴義地本委員長より挨拶がされた。

つづいて、執行部より二〇一九年度活動経過報告、会計報告、会計監査報告を事前に大会資料を配布し、代議員により確認された。

事前に書面にて、意見集約を行った結果代議員からの質疑は無く、後に書面決議の確認を行いました。

その後執行部提出議案第一号議案から第八号議案が提出され、事前に大会資料を配布し、代議員により確認された。

新年度役員改選・紹介は遠藤厚志選挙管理委員長(大町分会)より発表され、執行部を代表して山口地本委員長より、挨拶がされた。

最後に退任役員を代表して斉藤高尚前地本委員の音頭で、ガンバロー三唱が行われ、今大会が閉幕した。

大会書記



高澤 進 代議員
(安曇野支部)

議長



蟹澤 壮介 代議員
(木曽福島分会)

副議長



小林 千紘 代議員
(中野分会)

資格審査委員長



山下 幸貴 代議員
(飯田支部)

議事運営委員長



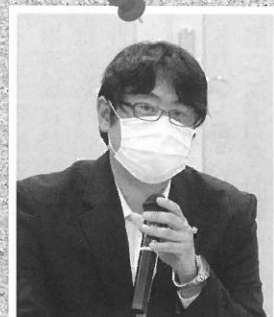
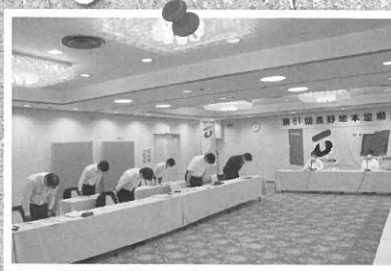
西井 有貴 代議員
(諏訪支部)

選挙管理委員長



遠藤 厚志 代議員
(大町分会)

大会スナップ



委員長あいさつ

地本委員長
山口 貴義

代議員の皆様におかれましては、非招集の書面開催、また大会構成員の皆様におかれましては、お集まりいただきありがとうございます。日頃は、厳しい職場環境の中、会社業務は勿論、労働組合の諸活動に對してもご理解・ご協力をいただいておりますことに心から、お礼申し上げます。

長野地本の活動も昨年確認された活動方針に沿って本日まで活動を展開してきましたが、一部については新型コロナウイルスの影響により開催できないものがありました。しかしながら、この一年間の総括と、次年度の活動方針案を審議していただく大会でありますので、代議員の皆さまの真摯で、建設的なご意見・ご要望を受けたいと思います。よろしくお願ひ致します。

まず、この一年、社会、世界に目を向けますと、中国から発症された新型コロナウイルス（COVID-19）による連鎖の脅威が私たちを不安の渦に巻き込んでいます。そのため、世界経済は悪くなる方向に向かっていきます。現段階では、リーマンショックを超える世界経済になるといわれています。

す。国内では、中小企業の倒産、特に宿泊業、飲食業、観光業が厳しさを迎えています。また、皆さんもご承知の通り東京オリンピック延期されました。また、自然災害が多く発生致しました。秋には台風十五号・十九号が発生し県内外への災害復旧応援がありました。

十九号については、日本列島各地に大きな爪痕を残し、観測史上最大級と言われ、甚大な被害にあわれた組合員、従業員を含め被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご復興を心よりお祈り申し上げます。

明るい話題といえば、緊急事態宣言が解除され、コロナ感染者の数が減少し、徐々に経済が動き出していることです。また、台風による爪痕が少しずつ復旧していることが目に見える段階となつてきています。このような状況下ではあります。すが、組合員の皆様を含め、今出来ることを一歩一歩進めていきたいと思ひます。で、宜しくお願ひ致します。次に私たちを取り巻く情勢です。

電力関連産業において

は、電力システム改革に伴い、電気・ガス事業者にとどまらず、新規参入事業者を含むエネルギー関連企業間の競争は、競争時代を勝ち抜くために、様々な経営効率化方策を実施し、グループ一体となった取り組みを進め、一部においてグループの枠を越えた企業の再編も行われています。また、原子力発電所については、再稼働に向けた献身的な取り組みが着実に進められているものの、新規制基準に係わる適合性審査の長期化などにより依然として再稼働の動向は不透明な状況となっております。

このような状況の中職場では、限られた要員の中で目標達成に向けて、日々努力をしております。営業部門は、営業利益を出していただきますし、配電部門においても昨年より施工能率が各所上がっています。加えて時間外数も全体的に削減されております。生産性向上策が浸透しつつあると感じているところでもあります。しかしながら、部門、職種によつては、休日出勤、時間外数が増加したり、高止まりしている状況もあります。会社では、働き方推進委員会が設置され具体的な、数字目標も出され取り組みが進められています。が、労働組合として、施策に問題が無いのか、チェック機能果たし、皆が、働き方が変わったと実感できる取り組みを推進していかねければならないと考えております。また、長野支店では「働き方改革」として、話し合いの場、ノー残業デー、休暇の取得により個々の意識改革を行い「自分の時間を作り出し、充実した人生を考え行動しよう」とテーマを掲げ長時間労働削減に向けて、取り組みを進めています。長野地本としても課題として取り組んでいきます。取り組みの中で、支部・分会で解決できない課題等ありましたら意見・要望していただき、課題解決に向けて、協議していききたいと思ひますので、少しでも良い方向に進むよう長野地本としても協力は惜しまず、労使一体となつて、働き方を見直すことを推進し、組合員が、ゆとり豊かさを實現できるよう取り組みを展開していきたいと考えていますのでよろしくお願ひいたします。

次に二〇二〇年総合生活改善統一交渉の関係になります。

電工部会統一交渉方針に基づき「魅力」「活力」「安心」と人財の確保・育成・定着に繋がる職場環境を構築することの重要性、日頃努力を重ねている組合員への投資が必要不可欠であることを訴え交渉を進めてきました。

今春闘において賃金改定に対し、組合員の期待は大きなものがあつたと思ひますし、私自身も大きな期待と、強い姿勢で交渉に臨みました。

妥結内容はご案内の通りであります。賃金改定は行わない。定期昇給については、賃金制度に基づき実施する。初任給については、二〇二一年四月定期採用から大学院・大学・高専卒が一〇〇〇〇円、その他学歴が一〇〇〇〇円。一時金については、組合員平均年間百八十万円、夏季九十万円、冬季九十万円の同額配分の六ヶ月の回答で妥結に至りました。会社が一定の利益を

確保している情報の中で、私としても今回の交渉は賃金にこだわりの交渉を進めてきました。が、当社の賃金制度においては定期昇給が確保されていること、会社業績については賞与一時金で返すという強い姿勢であったため、一時金に影響を及ぼすことは避けられた状況であります。力及ばずの結果となつてしまったと思ひますが、一時金の回答は組合員皆様のモチベーションの維持、向上につながつたのではないかと思ひます。特に折衝二役においては事務折衝を重ねる中で、職場組合員の想いを確実に会社側に伝え、一杯の交渉を展開したところ、そして妥協点を見つけて妥結に至つたことを報告させていただきます。

また、現在人事諸制度の改定について、春季オールドもお話しさせていただきました。が、今現在確認している段階です。まだ何も決まっています。皆様も納得できる制度になるよう、確認し議論していきますのでよろしくお願ひします。

次に政治の関係になります。

第二十五回参議院議員通常選挙についてであります。組織内国会議員浜野よしふみ氏の二期目の挑戦を、当選を果たす事が出来ました。単組としても点検定着活動を始め、さまざま取り組みを展開し、時には嫌なことをお願いすることもありましたが、選挙は失敗が許されない戦いでもありますので、組合員皆様には、それぞれの立場でこ

理解とご協力をいただきました。ありがとうございます。

また四月に施行された統一地方選挙において、松本市議会議員選挙で、組織内議員であります、芝山みのる議員の五期目の挑戦を、当選を果たすことができました。組合員とご家族の皆様が力強いご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。特に松本地域の方には、大変お世話になりました。本当にありがとうございます。これからエネギー政策や電気事業制度のあり方について、組織内議員を通じて、各地域の行政にも提言していくことが、重要となっております。これまで以上に芝山議員とは、連携をとっていききたいと思ひますし、くわえて組織内議員であります、竹村議員とも連携を深めて行きたいと思ひますので、これから変わらぬご支援・ご協力をお願いしたいと思ひます。

次に安全衛生の取り組みについてであります。

組合員の皆様方には、日頃から安全衛生・健康管理への取り組みに対し、厳しい環境の中、大変ご努力をいただいております。二〇一九年度長野支店管内においての災害件数については、作業災害が九件、交通災害が十四件発生しております。軽微な災害を含めれば高止まりしている状況にあります。二〇二〇年度に入つてからは、既に交通安全が一件発生しています。また電力総連大では二〇一九年度に十二件(十三名)の死亡災害が発生しております。

皆様も十分に認識していると思ひますが、私たちの

職場からは、重大災害である、感電、墜落、転落災害の発生することの無いよう、組合員全員が同じ気持ちで安全衛生活動に取り組みなければならないと考えています。誰もが災害を発生させようと思つていないことは充分承知していますが、少しの気の緩みや、省略行為により災害に繋がる事象も多くあります。で、安全に對する更なる意識の高揚をお願いしたいと思ひますし、過去の災害の教訓からルールが定められておりますので、決められたルールを遵守し安全最優先で「自分の身は自分で守る」を徹底していただきたいと思ひます。

また、メンタルヘルスによる長期休業者が増加している状況にあります。コミュニケーションを充実させることにより、早期の気付きにつながると考えます。で、何でも話し合える職場環境作りをお願いしたいと思ひます。

最後になりますが、長野地本役員も昭和生まれの方が、少なくなつてきているのが現状です。今まで築き上げた活動の継続は勿論のこと、若い青年委員の声も大切に活動を展開していかねければならないと考えます。コミュニケーションにより交流を深め、少しずつでも組合について学び、更には、次代のリーダーとなるよう参画意識の向上と人材育成に努めて行かなければならないと考えます。組合役員一丸となつて諸活動を展開し、若い力を中心に組織の強化発展に繋げていきたいと思ひますのでご理解・ご協力をお願いします。

退任者 あいさつ



齊藤 高尚
前 地本委員

今大会をもちまして、退任する事になりました支店支部の齊藤です。

古瀬地本委員、鈴木分会長、松澤支部長、大変お疲れ様でした。

私は、飯田支部長を二年、地本委員を五年務めさせて頂きました。

七年間を振り返りますと、髪の毛は、薄くなり体重は増えて、心身共に成長させて頂きました。

週れば五年前、前城倉委員長より「地本委員をお願いできないか」と、連絡が入りました。最初はお断りしました。数週間後、今度は、河崎副委員長と一緒に来て飯田支部近くの喫茶店で、地本委員になることを説得させられて地本委員を務める事になりました。あれから五年もの間、辛かったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、時には、厳しいことも言われました。ですが、今、思い起こせば楽しい思い出がいっぱいありません。私は、「絆」が組合活動では一番重要だとして活動をして参りました。

長、分会長又、本部委員の方々とも知り合い、私の一生の財産となりました。この役員をやつていなければ、まず出会うことすら出来なかった人達に出会い、何人もの同期や他地本へ転勤した時にお世話になった人達に会うことができました。組合はよく生き物だと言われます。まさにその通りだと思います。今、その時々に対応して、話し合い、時にはぶつかり合い、より良い方向へ導いていってもらいたいと思います。今、やらなければ、組合活動は衰退してしまいます。五年間地本委員を務めさせて頂いて、共済会、労働政策局、組織局広報と地本委員でコンプリートさせて頂きました。任期中は山口委員長をはじめ、長野地本の方々のお力添えと支部長・分会長の皆様の御理解と御協力により今日まで、何とか務める事が出来ました。明日からは、一組合員となりますが、その経験を生かし陰ながら地本や支部、又本部の活動に参加させて頂き、協力したいと思っています。

西澤、丸山新地本委員の加入で益々山口体制は若くなりませんが、一人一人が自覚と責任を持ち、長野地本の舵取り役となって引っ張っていつてももらいたいと思います。

最後にありますが、第十二回長野地本定期大会は通常開催出来ますように。そしてなによりも長野地本の組合員皆様とその御家族の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げ、退任の挨拶とさせて頂きます。七年間、大変お世話になりました。ありがとうございます。



古瀬 一真
前 地本委員

この度、地本委員を退任することとなりました。私は、三年間地本委員として組合活動に従事してきました。その中で数多くのことを学び、また、多くのことを経験させて頂きました。

地本委員になる前の私は、他部門の事や就業規則など自分から知ろうとすることもなく自分の身近な世界だけにとらわれた考え方しか出来ませんでした。しかし事務折衝や安全衛生委員会などを通して、様々な知識を得ることが出来ました。また、組合員から色々な意見を聞くことで自分の中にも考え方が多様化していき

の会社業務においても必ず活かしていけるものだと思っています。

また、組合活動を通じて培った人間関係も大きな財産となりました。会社業務だけでは関わる事がなかった人達に名前を覚えてもらって声をかけてもらえた時には、とても嬉しい気持ちになりました。この人との関わりは、三年間の中でも一番の宝物です。

私は、地本役員というのは長野地本の組合員の中から選ばれた数名であると思っています。そんな地本役員は組合活動のみならず、会社業務や人間性においても他の見本となるような人間でなければならぬという考えを持っています。もちろん私自身は、そのような優れた人間ではありませんし、たつた三年間では私が目指した地本委員のあるべき姿に到達することは出来ませんでした。しかし、そう成るべく自分なりに努力してきたことは無駄にはなっていないと思っています。地本委員を経験することにより私は大きく成長できたことを確信しています。そのような機会を与えてくれた長野地本という組織とこれまで支えて下さった組合員の皆様には、心から感謝しています。

これからは、一人の組合員として積極的に組合活動に参加していきたいと思っています。また、この経験から得たものを大切に、ただの思い出にするこ



鈴木 健之
前 大町分会長

分会長退任にあたり一言挨拶させて頂きます。任期中におきましては、前城倉委員長をはじめ、山口委員長、地本委員の皆様、各支部長・分会長、大町分会の皆様は四年間も、大変ご迷惑をお掛けしました事を心からお詫び申し上げます。



西澤 晶仁
新 地本委員

この度、地本委員を仰せつかりました篠ノ井支部の西澤です。

組合経験は支部長を3年間務めていましたが、組合活動の印象は日々過酷な環境の中作業している組合員の皆様の状況が少しでも良くなるような取り組み、充実した休日をご提供するようなど自分自身の時間を削って活動しているといった印象で、「地本委員は人の為に動くこと」が出来ない責任感のある人じゃないと出来ない」とぼんやり考えていました。まさか自分がそのお誘いを受けることになると思いませんでした。



松澤 広樹
前 松本支部長

退任された方

新任者 あいさつ

私は大雑把で面倒くさいことが嫌いです。しかし組合の中ではステップアップして一つ上の立場になるということ、自分の為ではなく、組合員の皆様が少しでも働きやすくなるようにしていくといったことをよく理解して、与えられた業務を精一杯こなし、少しでも組合活動の発展に繋がるよう自分なりに頑張っていました。

日々作業環境は変わる中で組合員の皆様の意見、要望もその都度変わっていくかと思いますが、その期待に少しでも応えていけるように、不慣れではありますが、山口委員長をはじめ、地本委員の皆様と勉強しながら活動していきますので、これからよろしくお願ひします。





丸山 数馬
新 地本委員

私は、上田支部支部長として一年間務めさせて頂きました。一年間と言う短い

経験では、組合活動をまだ理解出来ていませんので、不安しかありません。山口委員長から立候補してくれないかと言われたので、快く立候補しました。何かと、地本委員や拡大地本委員会メンバーにご迷惑、ご不便をかけると思いますが、一杯頑張っと思っています。宜しくお願い致します。



竹鼻 三智雄
新 上田支部長

現在の上田営業所工事グループは、物件工事と雑件工事の仕事が廻りきれないほどあり、他営業所からも応援を頂いて、何とか凌いでいる状況であり私自身も、有り難い事に仕事を本

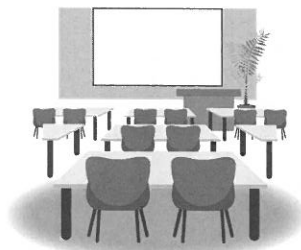
当に沢山抱えています。また、自分は入社以来、組合活動はほとんど参加出来ていませんでした。不安な気持ちでいっぱいですが、初めてのことで、上田支部の皆さんにご迷惑をかけることもあるかもしれませんが、まずは一年、支部役員で力を合わせて、頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



三浦 翔太
新 松本支部長

支部長と言う大変責任のある立場になった訳ですが、正直、組合活動についてまだまだ解らない事が多く、不安な気持ちでいっぱいですが、しかし、やると決めたからには責任を持って諦めずに務めて行きたいと思っています。

その為には、基本である労働組合の役割について少し調べてみました。簡単と言うと「労働組合とは、労働者が団結し、賃金や勤務時間、職場環境の改善に取り組む組織」とありました。私も支部長として組合員の皆様がより良く働きやすくなるよう、様々な意見、要望を汲み取り、できる限り課題を解決して行きたいと思っています。



今までの組合役員の経験としては、分会の書記長を四年経験してきました。ですが、分会長の指示で書類作成やオルグや分会大会の準備を言われた通りに行う程度で、なんとなく四年を過ごしてしまっただけで、自身、組合活動を理解しきれていない知識もあり無いため、今年度より分会長を務める事になりました。しっかりと活動が私に出来るのか不安はありますが、分会の皆様の様々な意見などを聞きながら学び、理解した上で分会の意見を上げていけるよう務めていけたらと思っています。一年目と言う事で、いろいろご迷惑をかけると思いますが、二役と共に協力し合って無事故・無災害で雰囲気の良い職場にしていけたらと思いますので、分会の皆様のご指導、御協力をお願い致します。



高橋 洋介
新 大町分会長

2020年度 地本組織業務分担



2020年度 長野地本新役員



松島 和輝
(伊那)



宮澤 弘江
(支店)

2020年度 会計監査員